



2022年6月2日
株式会社 阿波銀行

山口製材株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、山口製材株式会社（代表取締役 山口 英明、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	山口製材株式会社
所在地	徳島県三好市池田町中西ナガノ 327 番地 1
代表者	山口 英明
業種	製材業
設立	1965 年 10 月 12 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



山口製材株式会社 代表取締役 山口 英明

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取り組み内容	①取り組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会	社会貢献の経営方針への統合	持続可能な地域づくりに貢献すべく、社会課題を事業課題と捉え、その解決に積極的に取り組みます。	①国産杉との共生、木材不足に直面する都市圏等への安定供給		
			②2025年までに間伐材の利用・出荷量30%(約3,000m ³)増加(2022年度比)		
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	①(1)再生可能エネルギー(バイオマス発電)の促進 (2)端材のリサイクル (3)造作材の柔軟設計		
			②(1)2025年までにバイオマスボイラー、乾燥機利用率30%増加(2022年度比) (2)2025年までに畜産農家へ提供しているおが屑300t増加(2022年度比) (3)廃材を出さない加工		
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身ともに健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	①働き甲斐のある職場づくりとワークライフバランスの実現		
			②(1)地元人材の積極採用 2025年までに5人以上採用 (2)スキルアップ研修月1回開催 (3)男女間賃金の是正 (4)柔軟な休暇取得制度の運用		
社会	社会・地域活動の情報発信の推進	地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。	①木材の良さや木材の使い方(「木育」)の情宣活動		
			②(1)毎年地元小学生の職場見学受入れ (2)地元ケーブルテレビ等への出演・当社ホームページ関連テーマの更新 年1回実施		

SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

